

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	重度認知症の利用者の行動予測がつかず、離棟の危険性が高い。職員配置の員数から常時付き添いは困難であり、常に不安を感じている。そのため職員の手薄な時間帯は中玄関の施錠をすることがある。	中玄関を常時開錠し、利用者の自由な暮らしを支える。	中玄関付近にセンサーを設置し、利用者の行動を把握できるようにする。  (本計画書作成時現在、実施済み)	1ヶ月
2	24	現在、アセスメント方式はMDSを主として、一部センター方式を併用して本人理解に努めているが、計画作成担当職員だけでは情報収集・整理にかかる時間がなく十分な記入ができていない。	全職員がセンター方式の活用の仕方を習得し、情報をわかりやすく記録できるようにする。	センター方式の活用講習への参加、および参加者からの他職員への伝達講習を行う。	1ヶ月
3	4	運営推進会議には、地域住民代表として民生委員から毎回出席いただいているが、区長や地域住民の方々の参加は積極的に働きかけていない。	地区内の方々(区長、役員、老人クラブ、近隣住民など)の参加をお願いし、地域との関係をよりいっそう深める。	次回の運営推進会議で参加をお願いする方々を決めて、民生委員を通じて順次働きかけていく。	1ヶ月
4	45	原則として、曜日を決め週2回の入浴となっており、利用者の生活スタイルや希望に応じていない。	入浴日を職員の都合で限定せず、利用者の希望に応じて入浴できるようにする。	職員配置人数によって入浴介助者を確保できる日は入浴可能とする。	1ヶ月
5					ヶ月